

debug stun packet コマンドからの SDI および NDI の説明

内容

[概要](#)

[前提条件](#)

[要件](#)

[使用するコンポーネント](#)

[表記法](#)

[SDI](#)

[NDI](#)

[関連情報](#)

概要

このドキュメントでは、『[STUN仮想マルチポイントの設定](#)』の「確認」セクションに記載されているように、デバッグで表示されるシリアルデータ入力(SDI)およびネットワークデータ入力(NDI)の定義について説明します。

前提条件

要件

このドキュメントに特有の要件はありません。

使用するコンポーネント

このドキュメントの内容は、特定のソフトウェアやハードウェアのバージョンに限定されるものではありません。

表記法

ドキュメント表記の詳細は、『[シスコ テクニカル ティップスの表記法](#)』を参照してください。

SDI

SDIは、Local Serial Tunneling (STUN ; ローカルシリアルトンネリング) カプセル化インターフェイスから発信され、シリアル、直接、またはTCPカプセル化のいずれかに宛てられたパケットを表します。

NDI

NDIは、シリアル、直接、またはTCPカプセル化を介してネットワークを通過し、STUNカプセル化インターフェイスを宛先とするパケットを表します。

関連情報

- [テクニカルサポート - Cisco Systems](#)